

米原市上丹生 水害履歴マップその①概要版 (全4枚)

上丹生公会堂でのヒアリング調査(平成26年8月9日実施、参加者:18名)に基づき、昭和28年～平成25年の情報をまとめました。



被害状況

- ・西出橋が流失した。(S28)
- ・井尻橋の護岸が崩れた。(S46)
- ・上丹生に流れ込む土砂が短時間で河床に溜まり(橋から10cm下まで溜まることもあった)、水がだんだんと流れにくくなった。(H25)
- ・石が流下する音が聞こえた。(H25)
- ・河川の氾濫によって護岸が崩れ、土砂の流下によってアスファルトが浮き上がり、剥離していくのを見た。(H25)
- ・近年、土砂の流出量が増加しており、道路が川の水によって浸水しやすくなっている。(H25)
- ・宮前橋や12号橋(中央橋)等に流木が引っ掛かってせき止め、ダムのようになった。(H25)
- ・川の色が黒に変わり、においもした。(H25)
- ・初期段階で土砂が流れ始め、川床が上がった。(H25)

減災の知恵

- ・地盤の高い神明神社や公会堂に避難した。(S28)
- ・自警団が危険を判断して半鐘を鳴らし、それを聞いて、住民が避難を開始した。(S28)
- ・半鐘を聞いた住民は、周辺を見回して、情報の伝達(声掛け)した。(S28)
- ・水が石垣に当たる音(ドーン)+上流からやってくるかなり大きな石の流れる音で、危険かどうか判断した。(S28)
- ・木の橋は敢えてくぎを打って固定しない。流れたら流れたで仕方ない、むしろそこに流木が引っ掛かって川を堰き止めないようにしていた。(S46)
- ・山の道を通り、安全なところに避難した。谷は危険。(S46)
- ・上流側で被害が多いのは、河床が凸凹しており、そこに流木が引っ掛かって跳ね上がり、それが橋に引っ掛かると水が堰き止められ被害が大きくなるため。

平成25年台風18号当時の写真



写真 ①② :吉田英治様より提供
濁流によって、アスファルトが流されている。当時の水流の強さがうかがえる。

写真 ③④ :上丹生の皆様より提供
流木が12号橋によってせき止められている。これにより、ダムようになって、周辺は浸水してしまっている。

至松尾寺
至養鱒場

上流の養鱒場が壊れたため、マスが逃げ出し、マス掴みができるほどであった(S28)

山から水が出た

高い位置に避難

玄関まで水がきた(H25)

石垣が崩れた(H25)

石垣が崩れた(S28)

石垣が崩れた(H25)

石垣が抜けた(S28)

神明神社

宮前橋は集落内の橋の中で最も高さがあるため、近くの住民は水害時に宮前橋を通して避難した(H25)

車庫が浸水した(H25)

アスファルトが浮いた(H25)

周囲よりも地盤が低い

消防小屋

公会堂

成光寺

2号橋

井尻橋

5号橋

6号橋

12号橋

西出橋

宮前橋

至醒ヶ井

総谷川

当時の新聞記事にも、「マス、湖へ逃げる」の小見出しで、醒ヶ井養鱒場のマスが逃げたことが報じられている。
「朝日新聞滋賀版(昭和28年9月29日)」